

SOMPO ガールズボールゲームフェスタについて

当機構では、女性スポーツリーグ同士が横断的に連携し活動を推進する、アライアンス構想（Woman Athletes Project）を 2020 年に策定いたしました。社会課題解決を通して女性スポーツの価値向上を目指す、日本スポーツ界に新たな風を吹き込む史上初のアライアンス組織です。その活動の一環として、女性スポーツが地域を巻き込む力となるよう「SOMPO ガールズボールゲームフェスタ」を、以下概要にて地域自治体の皆様と開催していきたいと考えております。



Woman Athletes Project 紹介ページ

<https://japantopleague.jp/wap>



SOMPO GIRLS BALL GAME FESTA

○名称

「SOMPO ガールズボールゲームフェスタ 2023」

○参加対象者

あそびバ！：幼稚園年長～小学校 3 年生の女兒とその保護者・引率者

キッズチャレンジ：小学校 4 年生～6 年生の女兒 ※低学年からも参加可能、応相談

○参加講師

当機構に加盟しているリーグに所属する、又所属していた女性 アスリート

※経費負担、スケジュールなどは「SOMPO ボールゲームフェスタ」と同様となります。

資料 1 を参照ください。



なぜSOMPOガールズボールゲームフェスタを開催するのか？

1. 女性特有の問題・環境整備の必要性

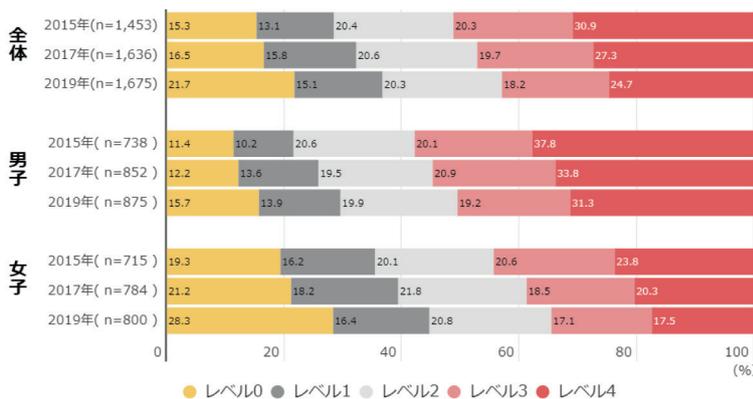
「スポーツ実施率向上のための行動計画～「スポーツ・イン・ライフ」を目指して～(スポーツ庁、H30)」では、対象ごとの取組の中で、“女性向け”に焦点を絞った計画を策定。女性特有の問題・環境整備の必要性が記載されています。

1. スポーツ実施率向上のための行動計画策定の目的	<p>エ. 女性向けの取組</p> <p>ー男性と比較してスポーツ実施率が低い。【参考資料 15-1, 15-2】</p> <p>ースポーツの実施における女性特有の課題に十分な対応がなされていない。</p> <p>女性向けの取組としては、女性のスポーツ実施の促進、スポーツをしない要因を考慮したアプローチを進めていく。</p> <p>妊娠・出産・子育て期において、気軽にスポーツができるプログラムを開発するとともに、女性のスポーツ実施につながる環境整備を図る。その際には、JSPOにおいて設置された女性スポーツ委員会とも連携を図っていく。</p> <p>また、女子生徒のスポーツ実施の二極化や、食べない・運動しないことによる痩せすぎ、身体機能の低下も懸念されていることから、正しい知識の浸透を図るとともに、スポーツをすることの効果を出しつつ、「女性のスポーツ促進キャンペーン(仮称)」を実施する。</p>
2. スポーツ実施率向上のための行動計画を推進する意義	
3. スポーツ実施率向上のための具体的取組	
(1)全体に共通する取組	
(2)主な対象ごとの取組	
ア. 子供・若者向けの取組	
イ. ビジネスパーソン向けの取組	
ウ. 高齢者向けの取組	
エ. 女性向けの取組	
オ. 障害者向けの取組	
4. スポーツ実施率向上のための行動計画の期間・評価	
(1)期間	
(2)評価	
5. 終わりに	

2. 女子学生のスポーツ実施率が低い

また、「子ども・青少年のスポーツライフ・データ2019(笹川スポーツ財団、2019)」では、女子学生のスポーツ実施率が男子に比べて低いことが明らかになっています。

【図2】 運動・スポーツ実施頻度群の年次推移 (12～21歳：全体・性別)



- 過去1年間で、全く運動をしなかった学生(レベル0)の割合は、男子が16%に対し、女子は28%
- また、男子ではレベル4*の割合が最も高いのに対し、女子ではレベル0の割合が最も高い

*レベル4...120分以上の運動強度「ややきつい」以上の運動を週5回以上行う者

以上のことから、女性のスポーツ実施率を向上させるきっかけとして、対象を女兒のみとした、運動あそび、ボール競技に触れ合うイベントを開催することといたしました。